

令和4年度第1回国内における米空軍機からの降下訓練について（口頭要請）

国内における米空軍機からの降下訓練の実施に当たり、横田基地所属の航空機が人員輸送のために使用されるとの情報提供がありました。

令和4年3月22日から4月24日までの間、東京都では新型コロナウイルス感染症のリバウンド警戒期間と位置付け、感染防止対策を実施しています。

周辺住民においては、基本的な感染防止対策として、引き続き、学校・職場・自宅等での窓を開けての換気対策を実施しているため、航空機騒音等の影響が大きくなっております。貴職に置かれましては、このような状況を御理解いただき、訓練に関わる自衛隊に周知するとともに、米軍横田基地に申し入れるよう次の事項について要請します。

○ 現在東京都においては新型コロナウイルス感染再拡大に備え感染予防対策を実施しているが、横田基地においても感染の再拡大が強く懸念される。

訓練の実施に当たっては、基地周辺住民への影響がないよう感染予防対策について徹底して取り組むとともに、国の責任において、周辺住民に十分な説明をすること。

- 騒音が大幅に増加することがないように周辺住民に十分配慮すること。
- 市街地上空での低空・旋回訓練は行わないこと。
- 基地外に影響を及ぼさないよう安全対策に努めること。
- 通常の運用時間帯以外での航空機の運用を極力実施しないこと。

令和4年4月15日

北関東防衛局長 扇谷 治 殿

横田基地周辺市町基地対策連絡会構成市町長

立川市長	清水	庄平
昭島市長	臼井	伸介
福生市長	加藤	育男
武蔵村山市長	山崎	泰大
羽村市長	橋本	弘山
瑞穂町長	杉浦	裕之

幹事 瑞穂町長 杉浦 裕之